

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	プログラミング応用	科 目 名	JavaEE アプリケーション開発Ⅱ	科目コード	T1380B2
配 当 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	授業実施形態	通常 ・ 集中	単 位 数	4 単位
担当教員名	森岡 卓哉	履修グループ	選択	授業方法	演習
実務経験の内容	IT 関連企業などで WEB アプリケーションの開発や支援システムの構築を 10 年にわたり行った業務経験を生かして、HTTP 通信の基礎部分から実践的に講義する。				
学習一般目標	Java アプリケーションの基本骨格である JavaAPI と ServletAPI を通して、ステートレスな通信とセッション構造をつくり WEB+DB なしくみを理解する。				
授業の概要 および学習上の 助言	Java 基礎の授業を履修済みであることが望ましいです。授業内でも復習はしますが、各自で復習する必要があるかもしれません。足りない知識は随時教員に質問してください。これまでの教科書を一通り復習していくので、時間が許せば事前におさらいして準備してください。 出来る限り新しいものを取り入れる予定ですが、参加学生の平均に応じて変化させるかもしれません。				
教科書および 参 考 書	スッキリわかるサーバレット JSP 入門				
履修に必要な 予備知識や 技能	Java の基礎知識・HTML&CSS の基礎知識・SQL の基礎知識・Linux (サーバ構築・コマンド) の知識				
使 用 機 器	実習室 (Windows PC , Debian GNU Linux)				
使用ソフト	Eclipse/IntelliJ/VS Code/Google Chrome/ メモ帳など				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	開発環境構築が行えるようになる。			
	1	WEBアプリケーションの構成技術を理解する。			
	2・5	WEB開発を理解し応用できるようになる。			
	2・4・5	IT技術者として必要な知識を収集し自学できるようになる。			

		総合評価割合	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
達成度評価 評価の要点					40	50			10	100	
		学部 D P 評価 方法	1.知識・理解			10	20				30
			2.思考・判断				10				20
			3.態度			10	10				10
			4.技能・表現			10	10				10
			5.関心・意欲			10	10				
評価の要点		試験	評価の実施方法と注意点								
		クイズ 小テスト	特になし（学習到達状況により考慮します）								
		レポート	各授業で提出物を出していただきます。								
		成果発表 (口頭・実技)	特になし								
		作品	特になし								
		ポートフォリオ	特になし								
		その他	特になし								
			与えられるのではなく、主体的・積極的な学習を評価します。								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週	Java の知識の確認 github のアカウント作成	実習	github アカウントを作成し education 申請
第2週	Linux コマンドの確認 markdown の書式について	実習	github の機能 マージコミット・プルリク
第3週	JSP サーブレットの基礎	実習	JSP/サーブレット (PHP) の基礎を復習します
第4週	JSP/サーブレットの基礎	実習	フォーム
第5週	Web アプリケーションの基礎	実習	
第6週	JSP/サーブレットの基礎	実習	HTTP ヘッダ
第7週	JSP/サーブレットの基礎	実習	SQL
第8週	Linux サーバの復習 Linux で WEB サーバー・データベース・サーバーを作ります	実習	
第9週	Linux サーバで動かす。 作った WEB アプリケーションをサーバで動かします。	実習	
第10週	WEB ページを作る	実習	bootstrap を使った WEB ページを作る
第11週	Linux サーバにデプロイ WEB ページやアプリケーションをサーバで動かします	実習	Linux Container (docker)
第12週	その他の WEB 開発言語	実習	python bottle ruby Sinatra
第13週	その他の WEB 開発言語	実習	php slim/laravel
第14週	その他の WEB 開発言語	実習	node / react